

Student Activities

活躍した学生たち

ナガサキ・ユース代表団

第7期生の活躍

2019年4月から5月上旬にかけて、「ナガサキ・ユース代表団」の第7期生9名が、ニューヨークで開催された「2020年NPT(核不拡散条約)再検討会議第3回準備委員会」へ参加しました。現地では、委員会の傍聴や9カ国の政府関係者との対談、核問題に対する声明文の発表など、精力的に活動しました。帰国後は全国の教育機関への出前講座などを行い、活動を通じて得た経験を多くの人と共有しています。



ながさき海援隊 キワニスクラブのサークルKに認証

海岸ゴミ拾いなどの活動を行うボランティア団体「ながさき海援隊」が、国際キワニスから、長崎キワニスクラブのサークルKとして認証されました。キワニスクラブとは、世界の子どもたちに奉仕する活動を支援する団体で、サークルKはこのうち大学生で構成するクラブを指します。ながさき海援隊は国立大学で初めてサークルKに認証された団体でもあります。今後、キワニスクラブとの連携により活動領域が国際的に拡がることが期待されます。

長大生が 「日本地下水学会2018年秋季講演会」 若手優秀講演賞を受賞

2018年10月に行われた日本地下水学会の講演会で、水産・環境科学総合研究科1年(当時)の成富真由さんが若手優秀講演賞を受賞しました。受賞した講演テーマは、「長崎県対馬における温泉水の起源および流動機構の解明」です。これまで対馬では生活用水の多くを地下水に依存していましたが、その地下水の実態は不明でした。成富さんの研究は地下水が太古に降った雨水だということを明らかにし、対馬の地下水流動の解明を大きく進めました。その功績が高く評価され、受賞に至りました。



経済学部1年生が 学部パンフレット及び ホームページについて提言

経済学部成田真樹子准教授の初年次セミナーに所属する1年生が、経済学部のパンフレット及びホームページの改善策に関する提言書を学部長に提出しました。この提言書は、「大学広報の課題発見とその改善策」をテーマに、長崎県の広報誌を作成している方の講義を受講したうえで、経済学部のパンフレット及びホームページの問題点と改善点を指摘し、卒業生や在校生へのインタビューも交えて、まとめたものです。今後の経済学部のパンフレット及びホームページの改訂に活用される予定です。

「長崎学生ビジネスプラン コンテスト2019」で長大生が入賞

長崎県内学生の起業マインドを高め、将来の県内企業創出を図ることを目的とした「長崎学生ビジネスプランコンテスト2019」が開催されました。経済学部2年の北川侑樹さんが「長崎から地方の若者流出を防ぐコミュニティスペースの運営」というテーマで長崎自動車賞を、歯学部薬学総合研究科博士後期課程3年の本田詩乃さんが「長崎の地域特性を生かした医水連携海洋資源活用型創業」というテーマでKabuK Style賞を受賞しました。



「ロマン長崎」に 長大生が選出

2019年度のロマン長崎に、教育学部3年の苑田大誠さん(写真中央)と経済学部3年の小谷花恵さん(写真左)が選ばれました。ロマン長崎とは国際観光都市長崎を代表する親善大使のことで、2000年度に「ミス長崎」から名称を変更し、性別の制限がなくなりました。男性として初めて選出された苑田さんは、秋の長崎くんちではオランダ船の曳引きとして参加し、冬のランタンフェスティバルでは皇帝パレードの皇帝役を担当しました。

